

DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

1999.1.21 No.27

編集・発行 大同工業大学社会交流センター
〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3
TEL 052-612-6193

No.27



学内レガッタ大会(庄内川)

CONTENTS

特集

飛躍するクラブ活動・就職活動

■ TOPICS

学生のデザインが商品になる
JIA東海支部設計競技金賞受賞 他

■ 研究室を訪ねて④

平成10年度 学部生・院生の学会発表者

■ アンテナ

世界遺産の国際講演会
ベルリン自由大学訪問 他

■ キャンパスライフ

クラブ活動報告 他

■ 桶狭間の戦跡めぐりの記

■ 桃介を訪ねて(3)

■ INFORMATION

大同工大キャンパス

1999

JANUARY

1

クラブ活動、
飛躍の時機
来る

うさぎ年だ、 僕らもジャンプ・アップ

～新体育館、新学生クラブハウス相次いで完成～

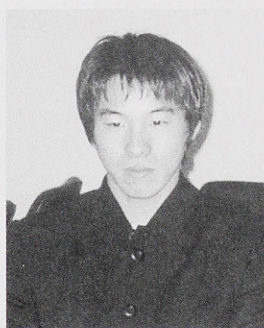
新体育館、新学生クラブハウス、元浜グラウンドの照明設備と相次いでクラブ活動支援施設が完成する。クラブ活動がジャンプアップする条件は整いつつある。そこで年の瀬も近い12月11日に9号館喫茶室に8つのクラブの代表に集まっていただき、大いに語ってもらった。座談会は2時間以上に及び、誌面の都合で多くの面白い話が紹介できないのは残念だが、とにかく聞いてください。

自動車部主将	伊藤 均さん
漕艇部部長	牟禮泰介さん
EDPS部長	幡田雅広さん
吹奏楽団団長	宮田洋鉦さん
バドミントン部副主将	間 大資さん
バレーボール部主将	石中慎人さん
モーターサイクルスポーツクラブ主将	小林大輔さん
クラブ委員会委員長・レーシングカート部	稲垣英視さん
司会／社会交流センター事務室長	野村秀樹

自動車部、全国大会で6位入賞

司会 それぞれのクラブの活動状況から話してください。

伊藤(自) 部員は19名で、普段はレースに備えて車のチューンナップをいろいろ工夫してやっています。試合の成績は、全国ジムカーナ選手権の学生の部で6位に入りました。全国の各支部予選を勝ち抜いた代表で戦う全国大会ですから自慢できます。



伊藤 均さん

石中(バレ) 部員は15人で、平日週3日間と土・日が練習です。東海学生リーグ2部で2位になったのですが、優勝チームに勝ちながらの2位で残念です。愛知県学生選手権では4位になりました。

幡田(E) 部員は30名で、部室にあるコンピュータ3台を交代で使ってゲームソフトの作成やホームページの作成なんかをやっています。みんな時間があれば、部室に来ていますね。

牟禮(漕) 部員は15名です。週に5日の練習で土・日は庄内川の艇庫に集まって、艇を漕いだり、走ったり、トレーニングしています。中部学生選手権の舵手付フォアで4位になりました。もっと上を狙っていたんですが、それから女子のシングルでも2位になりました。

小林(モター) 部員は26名です。成績はオフロード大学対抗の西日本大会で5位に入りました。

RC部は全国優勝

宮田(吹) 部員は約30名です。普段は体育館の4階で練習しています。もうすぐある定期演奏会や地域のイベントに出演しています。吹奏楽のコンクールはもっと多人数の編成が必要なので、今の部員数では出れないですね。

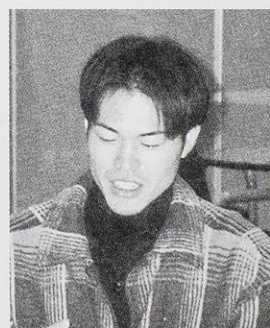
間(バド) 部員は30名です。体育館で週に3回練習していたんですが、夜間主コースの体育の授業が始まったので、今では週2回しかできません。コートも1面半しかなくコートに入れない時間が多いですね。そんなことで春には3部で優勝して2部に上がったのですが、今回はランクダウンしました。

司会 部員登録している人の中には、クラブに出てこない部員、幽霊部員もいるんじゃない。

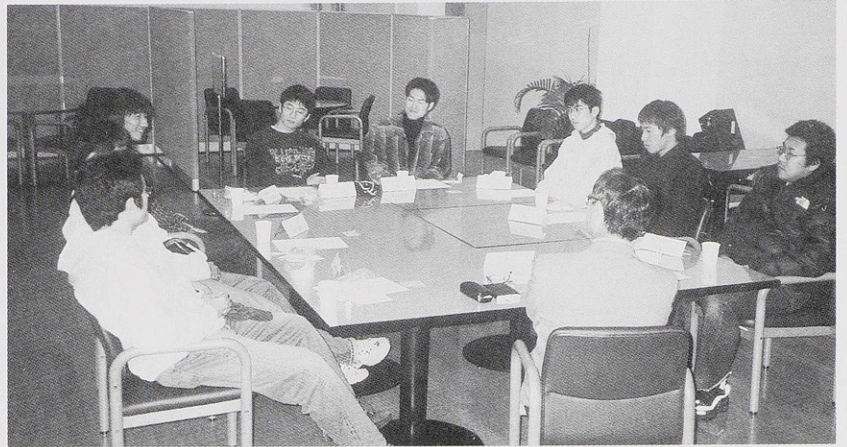
伊藤(自) うちは出席は厳しくやっていますから、幽霊部員はいません。

間(バド) うちは30人の部員のうち、日常的にクラブにくるのは20人くらいです。

幡田(E) うちも同じです。



稲垣英視さん



(その他のクラブから、ほとんど幽霊部員はいないとの発言が相次いだ。)

稲垣(委) クラブ委員会でなく、レーシングカート部のことも言っていますか。(どうぞ。)部員は12人です。全国大学カート選手権大会でF Pの部で優勝しました。

他大学の練習を見たり、一緒に練習したり、交流できるのがいいですね。

稲垣(委) うちの各委員はそれぞれの部から代表として来るんだけど、初めはイヤイヤなんです。つまんなさそうな顔して。ボーリング大会などいろんな行事を企画し実施するんですが、そのイヤイヤだったみんなが、イベントをこなす毎にどんどんのめり込んでゆくんです。特にレガッタ大会の終わったときなんか、最高です。

初めてのジャンプ体験で感激

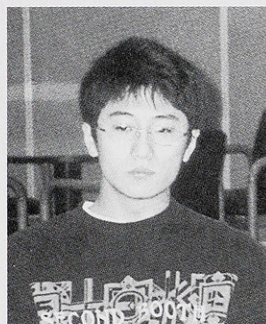
小林(モーター) バイクでジャンプするじゃないですか。あれなんか、初め全然できないんです。怖くて。でも練習続けて、初めて飛べたときなんか、最高の気分ですよ。それからいろいろな技があって、そういうのをクリアしてゆくのは、楽しいですね。

石中(バレ) やはり何といっても試合に勝つのが楽しいです。

宮田(吹) まずみんな音楽が好きです。音楽やっている時って、いいなあ!。それからこの前もレインボーホールで開催された地域のイベントに招かれて演奏したんですが、聴衆の人から「よかったよ」っていわれて、ああいうのってホント嬉しい。

伊藤(自) クルマさわっているのが楽しいですね。クルマって機械ですから正直なんです。いい加減な作り方すればだめな結果になる代わりに、いい仕事すればよく走ってくれます。やりがいがあります。それから、部車は1台しかないで、その1台に選手として乗るために、みんな激しく競い合っています。うちの部はすごく活性化していますよ。

クルマに大学の名をつけて走るんで、全国に大学の名を売ろうと思っています。



小林大輔さん

選手が入れるようにしてほしい

司会 クラブ活動は学生生活の大切な部分で、もっともっと活性化したいですね。そのためには部自身の努力が何よりだけど、周囲の支援も欲しいことってあると思います。言ったからすぐ実現するものではないが、もっとクラブ活動を活性化するためにバックアップしてもらいたいことがあれば言ってください。

石中(バレ) 東海リーグの1部に上がって優勝したいですね。そのためには選手がもっと入学できるようにしてほしい。2年ほど前には部員が7、8人しかいないときもあって満足に練習もできなかった。今は最低の人数は揃いましたが、それでも今の2年なんか勧誘していい選手がたくさん受験したんですが1人しか入れなかった。とにかく選手が入れることです。

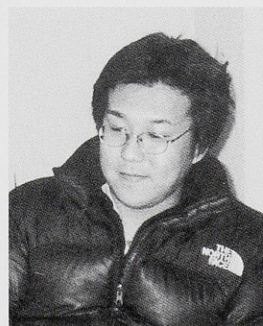
伊藤(自) もっともっと強くなって全国に大同工大の名を売りたいですね。そのためには車がもう1台欲しいです。自動車の競技は



石中慎人さん

大きく分けると「ダート」と「舗装路」の2種目があるんですが、条件が全く違うのです。従って、車のチューンナップも違うんですが、うちには部車が1台しかないんで、その1台で両方走っているんです。他の大学と比べてもの凄く不利な条件で、もう1台あればもっと成績上がるのに。

司会 1台いくらするの。



宮田洋鉦さん

はじめはイヤイヤだが…

幡田(E) コンピュータのこととは別なんです、クラブのお陰で学年の上下のつながりができますよね。あれって非常にプラスです。試験のことなんか教えてもらったり。

牟禮(漕) 漕艇部の場合は、練習する場所が庄内川で名大、名工大、愛教大など他大学と隣り合っています。ですから、普段に

伊藤(自) 中古で20万円くらいです。毎年の予算を少しずつでも貯めて買いたいと申請したこともあるんですが、予算は翌年に回せないとと言われてダメなんです。予算の多くはパーツ代で消えます。

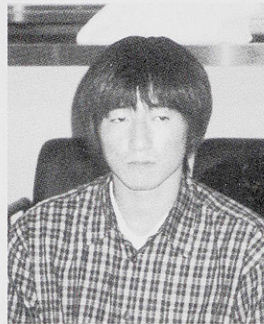
エイトを復活させたい

牟禮(漕) 昔は強かったエイトですが、もう一度エイトを復活させたいです。もう艇が古くてバランスは崩れるわ、水は入ってくるわ、で今は乗れません。もう修理できる状況ではないので新しいのを買ってほしいのですが、何せ高いですから。

幡田(E) いろいろあります。まず、クラブでホームページ作ったんで、学外に発信したくて情報処理センターにお願いしたんですが、セキュリティなんかの問題があってダメだったんです。何とか学外にも発信したいです。それから、部室も狭いので今は自宅のものを含めて個人個人でコンピュータに向かい合っているんですが、これではクラブといえない。もっとグループでわいわい知恵出し合ってやりたいんですが、そのためには部室は狭いしコンピュータも足りない。

外野席から 大学の中にあちこちコンピュータがあるじゃない。あれを使ったらどう。

幡田(E) みんなでワイワイできるところがないんです。コンピュータ動かしながら、「ああどうだ」とやりあえば刺激もあるし知恵も出てくるんですが、どこも静かにしていなくてはいけないんです。それから、時間の問題もあります。コンピュータってやり出せば夜中の12時にもなってしまうんで、閉館時間になって使えない。よその大学では24時間開放になっているところもあるという話です。そういう方向に行ってほしいです。



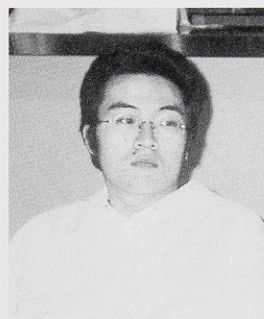
牟禮泰介さん

新体育館に熱いまなざし

間(バド) とにかく新体育館に期待しています。満身にコート使って練習したいです。それから、バドミントンは羽根を消耗するんですが、今の予算では2ヶ月分くらいしかありません。ですから自分たちでも金出し合って買っているんですが、もったいないからすれきた羽根をいつまでも使うんです。そうすると試合の羽根と飛びが全然違うので、問題があります。

宮田(吹) 新体育館ができれば、うちの練習場と楽器置き場はどこになるんでしょう。今は、学園体育館の4階で練習してんですが、3階から楽器を上げて、終わったら下ろしてに毎回30分は使ってしまう。時間がもったいないです。

小林(モーター) うちには特に要望はないです。



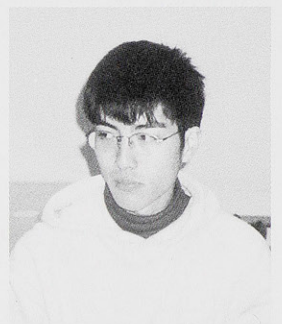
間 大資さん

部員勧誘の機会をもっと多く

稲垣(委) クラブ紹介の事です。新入生が入ってきた4月に図書館の前のピロティでクラブ紹介をうちの委員会が主催するんですが、予定を割り振っても当日来ないクラブが結構あります。あれって、非常にまずいんです。

このこととも関連するんですが、新しくできたクラブなんかに多いんですが、熱心だった初代の部長が卒業なんかで2代目に引き継がれる時に、書類の提出なんかも含めて、仕事の引き継ぎがきちんとしていないクラブがありますね。また、次の学年の人が役割を押しつけ合って結局だれもやらないとか、そんなこともあるようです。

幡田(E) コンピュータをおいて実演したりできるといいんですが、あのクラブ紹介の時間ではそんな余裕ないし。大学祭の時にブース出したりするといいのかもしれませんが、大学祭ってクラブやっている学生ばかりで、一般の学生があまり来ないから、やっても部員募集にはならないし。とにかく部員募集できるのが、年一日だけってのは、考える必要がある。



幡田雅広さん

稲垣(委) 部室の前には「部員募集」の紙は出しているんですが、効果はどうか。

司会 いろいろ苦しい事情もあるようですが、夢に向かって若さとエネルギーで乗り越えていただけるといいです。どうも長時間ありがとうございました。

こぼれ話 1

ゴルフ・競馬中継の裏に大同工大生がいる

東海テレビでゴルフや競馬中継を見ていると、選手の成績や予想オッズのテロップがでるが、あれは大同工大 EDPS 部の部員が操作していることが結構多いそうだ。

こぼれ話 2

季節によって変わるバドミントンの羽根

バドミントンの羽根は非常にデリケートなもので、同じものでも室内の温度が変わると飛び方が変わってしまうので、季節によって微妙に異なるものをスポーツ店は売ってるのだそうだ。だから、安く買おうと大量購入をして長期間その羽根を使うと、飛び方が違ってしまおうという。

こぼれ話 3

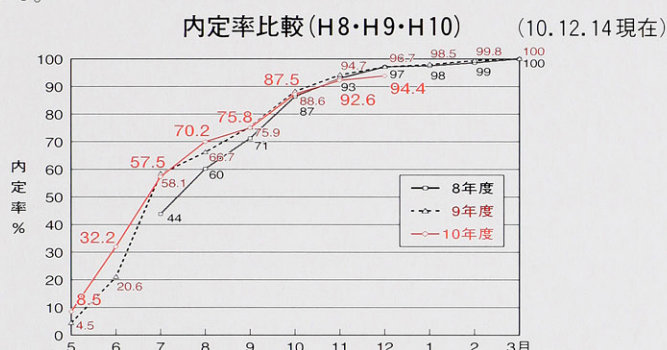
ビッグになった自動車部主催の大会

自動車部は「DIT ダートトライアル」という大会を主催しているが、参加チーム数が増えて、最近では全中部学生自動車連盟の大会をも兼ねるようになった。当日は大会を運営するのと、チームとして出場するので大変だそうだ。そうだろうな。

平成10年度の就職状況と 3年次生就職担当教員からのアドバイス

1. 就職内定状況

厳しい経済状況下において、本学の就職内定率94.4%と高く、近隣工科系大学の就職内定率と比較しても、10～16%近く上回っている。これは、本学の学生に対する評価がきわめて高いことが大きな要因である。不況下においても、就職内定率の高い大学のキャッチフレーズを今年も高く掲げることができ、学生に大変感謝している。



(追) 各大学の内定率の比較 (H 10.12.1 現在)

大学名	本学	K工大	T大	I工大
内定率 (%)	92.6	93.1	86.0	80.3

2. 平成11年度(現3年次生)就職スケジュール

———3年次生は2月から企業訪問がスタートします———

就職試験に合格するには1回でも多く面接試験を受けて面接なれをすることです。現4年生は0回～5回面接を受けてやっと合格しております。ところが11年度は大幅に求人数が減少するために0回～3回程度で合格しないと良い会社には入れないのではないかと思います。このため、2月に2社程度訪問をして面接なれをしておきましょう。

平成11年度就職指導スケジュール大綱

年 月 日	内 容
1月14日(木)	就職エントリー試験(エントリーシート提出)
1月18日(月)	進路調査票提出締切
1月25日(月)～27日(水)	2年次生就職ガイダンス(企業の求める人材、就職状況)
2月1日(月)～5日(金)	第3回就職ガイダンス(最終進路調査、就職諸手続き) [定期試験時間割決定後に日時決定]
2月8日(月)～10日(水)	就職作文試験(論作文添削指導) [定期試験時間割決定後に日時決定]
2月15日(月)～19日(金)	第4回就職ガイダンス(希望職種等記入指導、個人面談) [各学科担当の都合のよい日時]
2月22日(月)	企業説明会(3年生対象)
2月24日(水)	就職登録票提出締切
3月2日(火)～9日(火)	公務員試験対策講座(後期)一希望者対象
3月24日(水)・25日(木)	第二種情報処理技術者試験対策直前講座一希望者対象
4月5日(月)～9日(金)	第5回就職ガイダンス
5月10日(月)～14日(金)のうち2日間	企業説明会(J-NET主催)
6月7日(月)～11日(金)	第6回就職ガイダンス(理事長・学長講話、活動状況の把握、啓蒙)[各学科別実施]
7月1日(木)～7日(水)のうち2日間	企業説明会(J-NET主催)
8月30日(月)～9月17日(金)	第2種情報処理試験対策講座

3. 就職担当教員から就職一口アドバイス

機械工学科 杉浦正勝教授・土田 豊教授

平成10年度の採用試験は適性試験および面接試験に重点を置いた人格重視型の採用が多かった。平成11年度も同様の傾向にあると思われるので、自分の誇れる点を大いにPRできるように心がけよう。また、受験企業の調査(何故この会社を選んだのか、入社できたらどんな業務について活躍したいのか等)を十分にしておく必要がある。なお、本学就職指導室には、各企業からの会社案内や本学ホームページから各企業の詳細を調査できるので大いに活用しよう。

電気工学科 藤田順治教授

平和な世の中に生を受け、恵まれた環境のもとに育てられてきた君たちには、「何とかなさ」「何とかしてくれるだろう」という甘えの気持ちがありはしないか。こと就職に関しては、特に来年度は、このような甘い考えは決して通用しない。君たちの将来について、自主的、積極的に卒業研究担当教員や就職指導担当と話し合いをされるよう望む。

建設工学科 土木工学専攻 堀内将人助教授

「就職氷河期」嫌な言葉ですね。何て運が悪いんや!!とお嘆きの学生達も多いことでしょう。ほんとに運が悪いのでしょうか?私はそうは思いません。採用人数が少ないのは、出世が早いということ。入った会社の規模が小さかったとしても、それはこれから大きくなるということ。人間、プラス志向が大切です。しかし、倒産してもらっちゃ困ります。企業研究をしっかり行い、10年後、20年後に周りから羨望の目で見られるとっておきの会社を是非とも見つけ下され。

建設工学科 建築学専攻 渡辺雅生助教授

ここ数年、建築業界は大変な不況にあり、今春、就職活動をする皆さんには、大変厳しい年になると思います。その上で、次の言葉を贈ります。「就職」は、大学での勉強を「卒業」して、各自が「自立」することを意味します。言いかえると、鳥の「巣立ち」と同じでしょう。したがって、次のことを考えて企業研究する必要があります。

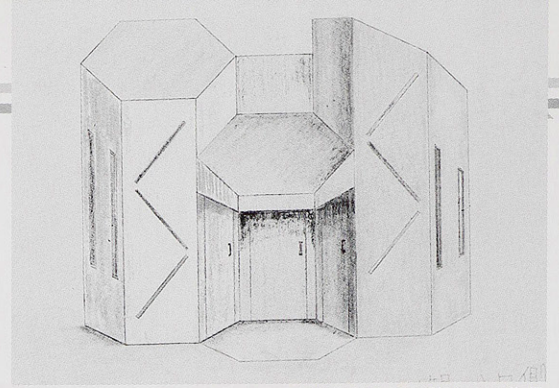
- 1) 各自が「自立心」を奮い立たせること。
- 2) 自分の「適性」を生かせる業種は何か。
- 3) 自分が「生活」するに最適な会社はどこか。

良く考えて頑張ってください。

応用電子工学科 岩間三郎教授

- (1) 誠意と熱意でまともにぶつかる。(分からねことには「分かりません」と素直に言える勇気を持って)
- (2) 自信を持って! (平成11年度就職常識試験の結果は全国平均並み)
- (3) しかし、甘くはない。(企業の現状をよく調べ、認識せよ)
- (4) だから時期を逸するな。(「先んずれば人を制す」のこのわざ通り) これらは就職戦線を突破するためだけの、特別な盾では決していない。諸君らが社会人となった以降も、いつも心がけてほしい事柄です。そして最後に
- (5) 就職指導室、就職指導担当教員、卒業研究指導教員との連絡を密にとろう。(企業から大学にもたらされる情報を見逃さぬよう)

(就職指導室)



最優秀賞の稲葉さんの作品

新しい産学連携のスタイル創造 学生のデザインが商品になる。

地元の企業が開発した新商品に本学の建築学専攻の学生たちのデザインが採用されることになりました。

豊田市のクメテック株式会社（製造担当）と東海市の鬼頭鋼材株式会社（販売担当）が環境にやさしい、次世代のトイレ・システムを開発しました。バクテリアを利用して汚物の分解や臭いの除去をし、ろ過槽で不純物を除去し水を再利用するものです。この新しいトイレにふさわしい建物デザインを若い感性で提案してほしいとの相談が本学の建築学専攻に持ち込まれ、2・3年次の建築設計の課題に取り上げられました。その審査結果が12月初旬に発表され授賞式が行われました。両社ではいくつかの作品を実際の商品カタログにとりあげることになりました。

実際の商品を実習課題として取り組むことは、学生にとっても刺激的でしょう。企業にとっては若々しい感性と、とらわれないアイデアを商品に生かすことができます。（昨年本学に招聘したフィンランドのラハティ職能大学の教育方式

に極めて近いといえます。）

企業側から最も高い評価を受けた稲葉さんの感想と、企業の担当者の声を紹介します。

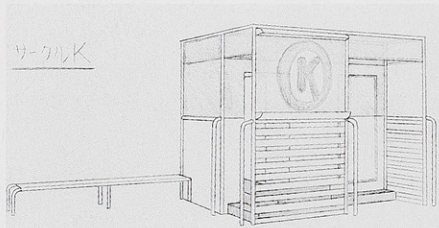
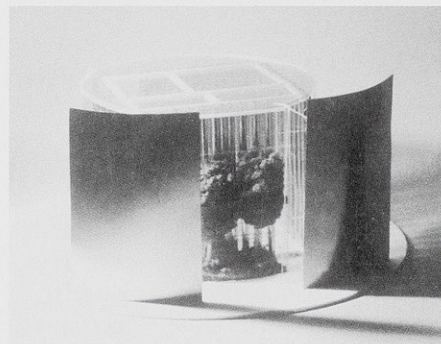


建設工学科建築学専攻3年
96A 稲葉裕之さん

この課題に取り組むに当たって、まず考えたことは、トイレらしいトイレというのではなく、外観はオブジェのようにも見えるようにしたいということです。

六角柱を基本形として、入り口の1面以外の5つの面に連結して増やせるようにしました。ただの六角柱ではオブジェ的な印象が薄いので、屋根を斜めにカットしたデザインにしました。

この作品が最優秀賞を取れるとは夢にも思っていなかったので、大変驚きました。このデザインが参考になって実際にトイレが作られると聞いて、学生の間に考えたものが実現するようで、大変良い経験ができて良かったと思います。



優秀作品のいくつか。
全部お見せできないのが残念です。

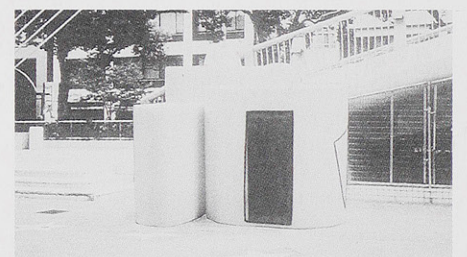


鬼頭鋼材株式会社
営業本部 近藤信武さん

循環式トイレ「モナレット」の販売を昨春開始しましたが、機能やリサイクルなどの環境対策は好評を受けたものの、外観が不評でした。それで母校である大同工業大学の建設工学科にデザインをお願いしたところ、150を越す学生さんの作品をいただきました。予想以上の応募に驚きましたが、加えて応募作品が優秀で、2回の選考を行い、予定外の特別賞を追加するなど、誠に嬉しい事態となりました。

作品は11月の名古屋国際ホテルにおける「地球環境時代におけるトイレのあり方」セミナーや12月に名古屋国際会議場で行われた「特許流通フェア98」で展示させていただきました。

建築家の浅井佐知子氏に「将来を担う建築家の卵たちにこのような機会を与えたことは大変有意義な企画です。今後機会あるごとに紹介します。」と言っていただき、想像していた以上の反応に驚いています。年明け早々に優秀作品の設計を開始し、試作することを決定しており、試作の段階でデザインされた学生さんにも見ていただこうかと考えています。



「第15回 JIA東海支部設計競技」 金賞に安形寛子さん、佳作に狭間敦司さん

平成10年12月8日、朝日会館のホールに於いて、社団法人日本建築家協会東海支部主催の設計競技入選者の表彰式が行われ、建設工学科建築学専攻4年安形寛子さん、狭間敦司さんが学生の部で見事栄誉に輝きました。今回は、「布」に焦点を当て、「布」の素材特性を活かして建築や街に仕掛けることをテーマに安形寛子さんの「時を織る」作品が金賞を、狭間敦司さんが佳作を射止めました。

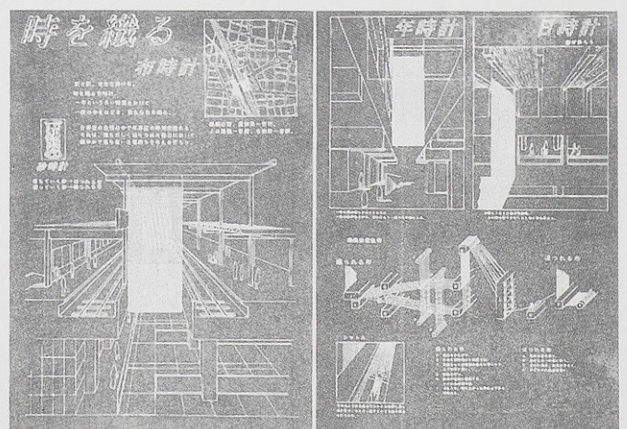


「95A 安形寛子さん
喜びの言葉」

セータの毛糸を引っ張って、ほつれていく様子を砂時計にたとえ、時間を刻みながら新たに織ってゆく、そんな様子をヒントに「布時計を一宮駅に仕掛ける」作品を創りました。本当に金賞なんですよ。びっくりしました。大変うれしいです。

【学生の部入賞者】（他大学の入賞者名省略）

金賞／安形寛子（大同工業大学） 銀賞／（早稲田大学）、（名城大学） 銅賞／（名城大学）、（愛知工業大学）、（愛知工業大学）、（名古屋工業大学）、（名古屋工業大学） 佳作／狭間敦司（大同工業大学）、（名城大学）、（名古屋工業大学）



**愛知県知事から
感謝状を受ける**



博士課程から3人目の博士誕生
～初の本学学部卒業生～

本論文は、難加工材として代表的な高炭素クロム軸受鋼、アルミナ系セラミックス、および SiC 分散強化型アルミニウム基合金をとりあげその切削性を材料因子との関連で解明するとともに、新しく提案したダイヤモンド切削工具の寿命との関係を明らかにすることを目的として詳細な検討を行った研究です。



～11月はまるで国際交流月間～

オレゴン
州立大学
滞在記
No. 2

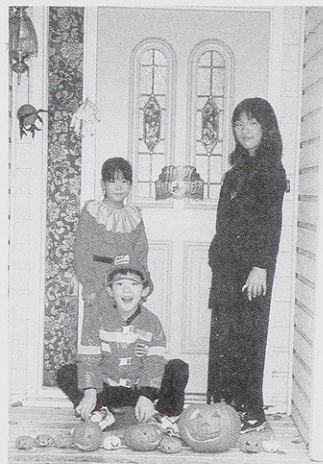
保健体育教室助教授 服部 洋 兒

私の子供も長女は魔女に、次女はお姫

現在、オレゴン州立大学には私を含め3人の大同工業大学関係者がいます。大同工業大学を卒業し、更なる飛躍を目指し大学院で勉強している久野君と大学院入学を目指して頑張っている松尾さんです。時々、キャンパスで顔を合わせるのですが両名とも寸暇を惜しんで勉強しています。先日の会話ではレポートや試験が頻繁にあり、1週間に2度、徹夜したと聞き、ビックリするとともに自分にとっても大きな刺激になりました。この両名に負けないよう、残りの5ヶ月間、充実した留学生活を送りたいと考えています。(11月18日記)

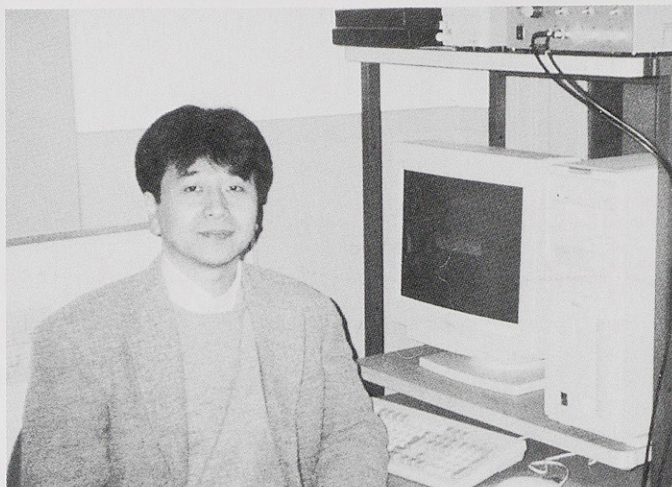


中央がオレゴン州立大学アキ・ヒル女史



世界初の制振制御システムを開発

～大嶋研究室～



ガスレンジの着火装置を知っていますか。この装置は特殊なセラミックスでできており、ひずみ(力)を加えると電圧を発生する圧電効果を応用したものです。この効果(正確には圧電効果と逆圧電効果)を応用したのが、大嶋先生が世界に先駆け開発に成功した「セルフセンシング・アクチュエータ(Self-Sensing Actuator)」。

この装置を用いることにより、超小型の装置で大規模構造物の揺れを抑えることが可能になるとのことです。

この研究成果は平成8年、日本機械学会論文集C編に「セルフセンシング・アクチュエータを用いたはりのロバストな制振制御」という論文で発表され、学会において大きな反響を得た。

人工衛星への搭載

この研究を開始したきっかけは大嶋先生が名古屋大学工学部の講師であった平成6年までさかのぼる。

当時材料の分野では、この装置は理論

的には実現可能であることが知られていたものの、開発はむずかしいと考えられており、絶対に製作不可能とまで言う研究者もいた。しかし、材料と制御の両分野を研究してきた大嶋先生は、制御をうまく取り入れることで開発が可能なのではと考え、前述の研究成果に結実したとのこと。ちなみにこの分野の研究者は境界領域ということもあり、国内で10名もいない。

現在の課題は応用面。今取り組んでいる課題は、前述した大規模構造物の制振制御。現在でも東山スカイタワーなどで揺れを押さえる装置が稼働しているものの、かなり大がかりな装置が必要である。この研究がうまく行けば、非常に小さな装置で、建物や橋などの構造物の揺れを止めることが可能になるとのこと。

先生は人工衛星への搭載まで持ち込みたいと考えている。真空中ではソーラーパネルを支持するアームの振動が問題となるが、この装置は軽量・小型・信頼性・寿命が要求される人工衛星に打ってつけであるとのこと。

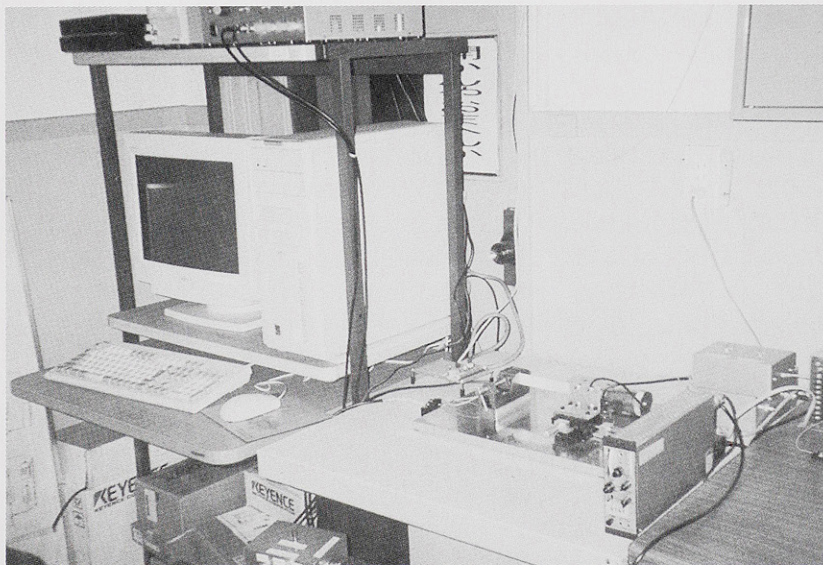
さらに、コンサートホールの空調ダクトの騒音制御など応用の対象にアイデアは尽きない。

多彩な経験と興味

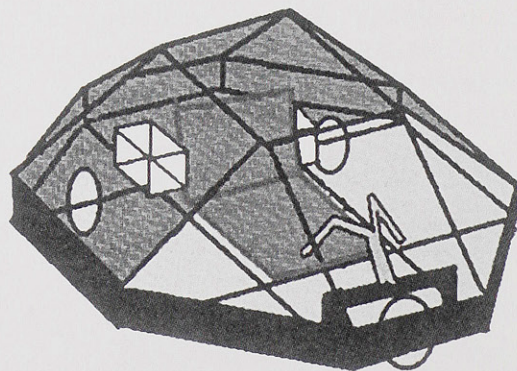
大嶋先生の卒研究室の研究テーマは、セルフセンシング・アクチュエータの開発のほか、「ソーラーカーの作製」と「ホームページの作成」がある。これらは先生の研究分野とは異なるものの、学生のやる気を尊重し、先生の多彩な経験と興味を以て指導されている。

またオーディオにも造詣が深く、しばしばオーディオ関係の雑誌にも掲載され、先生のホームページではこうした掲載記事が紹介されているので、興味のある人はチェックしてみてもいいかもしれません。

国立大学から移って一番ありがたいと感じたことは立て替え払いが可能な会計制度と海外学会での発表補助制度。大嶋先生はこの制度を最大限有効活用されているとのことでした。また、小回りの利く工作実験実習室も研究の進展の大きな支えになっているとのこと。



セルフセンシング・アクチュエータ実験装置



ソーラーカーの完成予想図

◆◆◆◆ 平成10年度 学部生・院生の学会発表者 ◆◆◆◆

演 題	学 会 名	氏 名	指導教員
超音波モータを用いたロボットハンドの把持力制御	日本機械学会東海学生会	95M 坂口朋也、小宮伸治	西堀賢司教授
磁性流体アクチュエータを用いたロボットアーム	日本機械学会東海学生会	95M 酒井祐一	西堀賢司教授
把持力の大きさ、位置、角度を検出するロボットハンド	日本機械学会	97MM 石井一史	西堀賢司教授
円環形超音波モータの単相入力による駆動特性の最適化	日本機械学会東海学生会	97MM 成田博和	西堀賢司教授
オーステナイト系ステンレス鋼の摩擦圧接	摩擦圧接協会	97MM 中村憲章	細井祐三教授
モアレ干渉法による応力・ひずみ解析に対する画像解析の応用	日本機械学会東海支部	97MM 竹田操、名倉孝昭	杉浦正勝教授
摩擦補償をもったクレーンのスーパーバイザリ制御	日本機械学会東海支部	97MM 高見宏武	藤井省三教授
画像処理による鋳鉄表面の腐食評価	日本鑄造工学会東海支部	98MM 芝田洋平	青山正治教授
画像処理による鋳鉄表面腐食のフラクタル解析	日本鑄造工学会	98MM 芝田洋平	青山正治教授
平行 2 円板間内の熱伝達に関する研究	化学工学会	97MM 久米孝章	中村 肇教授
水平加熱回転円筒体上の熱伝達	化学工学会	97MM 高井淳秀	中村 肇教授
スピーカのセルフセンシング・アクチュエーションによる騒音制御	日本機械学会東海支部	97MM 三村達也	大嶋和彦助教授
等断面せん断押出し加工 (ECAE) における変形機構	日本塑性加工学会	97MM 水船尋仁	小野宗憲教授
各種人工光源と室内色の組み合わせによる相互反射効果 II	電気関係学会東海支部	95E 高津伸夫、佐久間良二	西村政信講師
有彩色ルーバ照明の計算法の研究 V	電気関係学会東海支部	95E 朝長貴志、永井敬文	西村政信講師
有彩色ルーバ照明の計算法の研究 VI	電気関係学会東海支部	95E 谷川寛明、林晋司	西村政信講師
Web デザインと Web プログラミング	電気関係学会東海支部	95E 長瀬正寛、93E 加藤直也	小川清氏 (名市工研)
Web ページの設計における JAVA プログラミングの選択	情報処理学会	93E 加藤直也、95E 長瀬正寛	小川清氏 (名市工研)
ソフトウェアプロセスの改善	電気関係学会東海支部	95E 大野剛、95D 小西良	小川清氏 (名市工研)
ソフトウェアプロセスアセスメントの実用化のための枠組みについて	情報処理学会	95D 小西良、95E 大野剛	小川清氏 (名市工研)
マイクロ波放電の最適化に関する実験的研究	電気学会	98EM 中根宏幸、中島幹雄、川口大介	藤田順治教授
マイクロ波放電プラズマにおける発光及び電界強度の空間分布	電気学会	98EM 中島幹雄、川口大介、中根宏幸	藤田順治教授
人眼期の生体信号解析	電気関係学会東海支部	95E 松岡孝幸、櫻井辰敏	高田和之教授
インパルス応答関数を用いた自律神経機能評価	電気関係学会東海支部	95D 竹居秀高、95E 井田昌孝	高田和之教授
水平加速外乱が心拍と連続血圧変動評価パラメータに与える影響	電気学会	97EM 森本陽子	高田和之教授
ウェーブレット変換による姿勢変換時の心拍変動の解析	生体整理工学シンポジウム	97EM 森本陽子	高田和之教授
無拘束連続血圧測定装置開発のための基礎的検討	電気学会	97EM 森本陽子	高田和之教授
振動負荷時の血液循環系パラメータ変動の解析	電気情報通信学会	98EM 藤原奈央	高田和之教授
振動負荷時の血圧と心拍変動解析	電気関係学会東海支部	98EM 藤原奈央	高田和之教授
ウェーブレットによる心拍変動の時周波数解析方法の検討	電気関係学会東海支部	97EM 森本陽子	高田和之教授
心拍変動による血圧値の推定	自律神経機能 システム 工学研究会	97EM 森本陽子	高田和之教授
心拍変動時系列データへのウェーブレット解析の適用	ME とバイオサイバネティクス研究会	97EM 森本陽子	高田和之教授
心拍変動時系列データへのウェーブレット解析	日本人間工学会東海支部	97EM 森本陽子	高田和之教授
心拍情報から血圧値推定に関する検討	日本 ME 学会	97EM 森本陽子	高田和之教授
姿勢変換時における心拍変動のウェーブレット解析	日本 ME 学会	97EM 森本陽子	高田和之教授
高齢者を対象とした姿勢変換による自律神経機能評価	電気学会	97EM 森本陽子	高田和之教授
連続ウェーブレット変換による姿勢変換時の自律神経機能評価	電気関係学会東海支部	95E 大見直史、97EM 森本陽子	高田和之教授
バルスタウンゼント法を用いた電離係数の測定	電気関係学会東海支部	95E 山田雅敏	近藤芳孝教授
微粒子ープラズマの微粒子濃度測定	電気関係学会東海支部	94E 吉川元治、米田 靖	日置義昭教授
コロナ放電のオゾン発生特性	電気関係学会東海支部	95E 三浦行生、橋口徹郎、93D 國井修	関谷昌久教授
住環境騒音における瞬時レベルの分布	電気関係学会東海支部	95D 岡田真一	大石弥幸教授、三品善昭教授
三層構造における電子ビームドーピングのメカニズムの研究	電気関係学会東海支部	97EM 安井文昭	和田隆夫教授
750KeV 電子ビームドーピング (EBD) を行った GaAs/Si/ GaAs 三層構造の GaAs 基板の結晶状態	電気関係学会東海支部	98EM 大津弘一郎	和田隆夫教授
電子ビームドーピングにおける原子のふるまいに関する研究	電気関係学会東海支部	98EM 亀井英和	和田隆夫教授
表面における超拡散	電気関係学会東海支部	98EM 浅見護	和田隆夫教授
FGE 法によるナノ粒子の粒径制御	電気関係学会東海支部	95D 鈴木剛史、下川正尚、住俊和、97ZD 田中圭	岩間三郎教授
Flowing Gas Plasma 法によって作成した殻構造を有する Fe-C 系ナノ粒子	電気関係学会東海支部	96ME 川瀬貴志男、97ZD 田中圭	岩間三郎教授
FGE 法で作製するナノ粒子の粒径制御	超微粒子とクラスター懇談会	97ZD 田中圭	岩間三郎教授
非晶質 Sb ナノ粒子の結晶化	超微粒子とクラスター懇談会	97ZD 田中圭	岩間三郎教授
FGE 法で作製するナノ粒子のサイズ分布とその制御 II	応用物理学会	97ZD 田中圭、95D 下川正尚、鈴木剛史、95D 住俊和	岩間三郎教授
Flowing Plasma Processing によって作製した Fe-C 系ナノ粒子の電顕観察	日本物理学会	97ZD 田中圭、96ME 川瀬貴志男、95D 下川正尚、鈴木剛史、住俊和	岩間三郎教授
Flowing Gas Plasma 法による Ge ナノ粒子の表面修飾	日本物理学会	97ZD 田中圭、95D 下川正尚、鈴木剛史、95D 住俊和	岩間三郎教授
数値計算による不透過水制周りの流れ場について	土木学会中部支部	97BM 山下敦	久保田稔教授
超音波を照射したセメントペーストの諸性質	土木学会中部支部	97BM 米村健	桑山忠教授
Spline Layer 法を用いた扇形厚板の自由振動解析	土木学会	98BM 田中宏明	水澤富作教授
超弾性膨張膜の初期つり合い形状と振動解析について	土木学会	98BM 田中宏明	水澤富作教授
3 次元単一ケーブルの自由振動特性について	土木学会	98BM 加藤秀一	水澤富作教授
スプライン要素法を用いた変厚長方形 Mindlin 板の振動解析	土木学会中部支部	95C 西川知日子	水澤富作教授
先端に集中質量を持つ鉛直ケーブルの動力学的性状について	土木学会中部支部	98BM 加藤秀一	水澤富作教授
変動圧力を受ける膨張膜の動的応答性状について	土木学会中部支部	98BM 田中宏明	水澤富作教授
社会的規範を考慮した違法交通行動の重み付け	土木学会	97BM 市川隆人	舟渡悦夫助教授
都心部におけるコイン駐車場の利用特性に関する調査分析	交通工学研究会	97BM 市川隆人	舟渡悦夫助教授
距離とゾーンからみた街区公園の利用特性	土木学会	98BM 児玉陽子	舟渡悦夫助教授
住民と行政が一体となった街区公園の維持管理のあり方について	土木学会中部支部	98BM 児玉陽子	舟渡悦夫助教授
一般ドライバーの監査者適性に関する研究	土木学会中部支部	95C 山下聖真	舟渡悦夫助教授
かぶりコンクリートの錆膨張ひび割れ発生時期推定に関する研究	日本建築学会	98BM 太田則行	太田福男教授
コアドリの送り難易度による表層コンクリートの圧縮強度推定に関する実験的研究	日本建築学会東海支部	98BM 太田則行	太田福男教授
高流動コンクリート中の重量骨材沈降程度について	日本建築学会	97BM 阿部田康友	太田福男教授
コンクリート中の誘導加熱鉄筋の熱伝達特性について	日本建築学会	97BM 李俊弦	太田福男教授
調理臭を指標とした必要換気量に関する研究	日本建築学会東海支部	95A 竹内基展	光田 恵講師
半 PC 板合成スラグの打継に関する研究	日本建築学会東海支部	98BM 渡辺洋一郎	山本俊彦教授
場所打ち鉄筋コンクリート杭の実験 (その 2: 曲げせん断実験)	日本建築学会東海支部	98BM 吉田誠	山本俊彦教授

カレッジプラザ、 特許流通フェアに出展

カレッジプラザは名古屋市商工会議所が主催する「名古屋技術交流ひろば'98」の一環として3年前から開催されているもの。本年は10月30日、名古屋市中小企業振興会館にて開催され、本学からは、機械工学科・杉浦教授、小森助教授、電気工学科・藤田教授、建設工学科・五島教授、応用電子工学科・和田教授の5研究室が出展しました。

特許流通フェアは特許庁および中部通商産業局が主催し「産学相互の技術移転・交流の深化を軸とした産学官連携の推進」を基本コンセプトとして開催されているもの。本年は12月3～4日、名古屋国際会議場にて開催され、本学からは、電気工学科・高田教授、建設工学科・山本教授の2研究室が技術情報展示部門に出展しました。

両会場とも製品開発のアイデアを求めるビジネスマンを中心に大盛況でした。



初の夜間公開講座



「図面の見方・読み方」 講師：近藤巖機械工学科講師

本学主催 第17回公開講座は、機械工学の基礎専門講座として11月5日から20日の木、金曜日6回にわたり開講し、受講者は、企業や学校から派遣された方々で営業担当者、設計技術者、現場加工技術者、機械製図教育者など43名が受講しました。講座修了日には交流会も開かれ受講者から「今まで、上司、先輩の見よう見真似で図面を書いたりしてきたが、自分のあまりのいい加減さにがくぜんとしました。」との声や企業間の情報交換が行われるなど大変好評でした。

募集40名のところ75余名(34社)から受講申し込みがあったが、45名に限定したため、再度3月に開講することになりました。

学位取得

おめでとうございます。

電気工学科 茂吉雅典講師

平成10年12月2日付けで名古屋工業大学から博士(工学)の学位を取得されました。

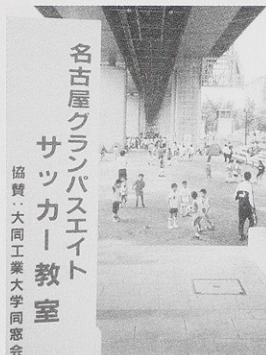
学位論文「自律神経機能の工学的手法に基づく評価に関する研究」



同窓会「名古屋ゼロ目まつり」に参加

センチュリーフェスタ'98「名古屋ゼロ目まつり」主催 センチュリーフェスタ実行委員会(会長 高瀬泰昌アメ横ビル社長)、10月10日から11日の2日にわたって、若宮大通り公園のからくり人形時計塔前を中心に開かれ、同窓会が参加協力しました。

当日は午前10時10分にカウントダウンセレモニーから始まり、ムジカセ



ラミカオーケストラコンサート、和泉流宗家狂言、名古屋グランパスエイトのちびっこサッカー教室など盛りだくさんの催しものが開かれ、同窓会は、「名古屋グランパスエイトのちびっこサッカー教室」の協賛と同窓会広報展示ブースに参加しました。

8月8日には「第3回名古屋まるはち音頭踊りコンテスト(24チーム参加)」に参加、昨年度(準優勝)に続き今年度は「特別賞」に輝くなど1週間の猛練習が実を結びました。

世界遺産の国際講演会

クリスマスも間近の12月22日夜、名古屋駅前の名古屋国際センターで本学主催の国際講演会を開催しました。講師は提携校であるドイツのアーヘン工科大学建築学科のハルトヴィヒ・シュミット教授、通訳は外国語教室の福原意玄教授がつとめ、世界遺産であるケルン大聖堂の技術と美について、スライドによるわかりやすい話に230人の聴衆は熱心に聞き入っていました。



シュミット教授と
通訳の福原教授

新任教員紹介

11月1日付で新しく先生を迎えました。自己紹介をして頂きます。

機械工学科教授 山内五郎(やまうち ごろう)

●プロフィール

出身大学 名古屋大学大学院
(修士課程金属工学専攻)
学 位 工学博士
最終前歴 N T T 技術協力センタ
生年月日 1947年7月6日



私は、このたび機械工学科に着任しましたのでよろしくお願いします。私の趣味は、今まで知らなかった新しい世界を探求することです。例えば、カナダのコロンビア大氷原を見て思いもかけぬ壮さに驚くとか、趣味をビジネスにして生き生きと活動している人と知り合いになるとか、飛び切り美味しいレストランを見つけるとかです。本学では、未来を拓く若い学生諸君に教えるかわら、自らも学び続けたいと思っています。

ベルリン自由大学訪問

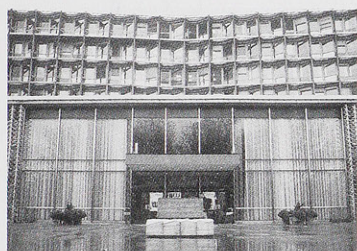
保健体育教室 水野義雄教授

10月中旬から下旬までの10日間、短期間ですがドイツベルリン自由大学付属ベンジャミン・フランクリン記念病院へ、日独共同実験(代表:渡邊悟 藤田保健衛生大学教授)で行って来ました。

この記念病院は西ベルリンにあり歴史は30年という、比較的新しい病院です。私たちはここで、鳩の半器官に関する生理学的研究と病理学的研究の実験を行って来ました。鳩はなぜバランスよく飛ぶことが出来るのか、この秘密は耳の奥にある半器官によると考えられています。午前9時から午後5時まで毎日、病院の地下にある実験室で鳩と過ごしました。実験はそれほどつらいものではありませんが、私自身が拘束されたこと、ドイツ語が話せなかったことをつくづく感じました。実験中は英語で対応できますが、町に出るとドイツ語ばかり、当たり前ですが、英語だけではだめかなとも思いました。こんな調子でしたのでベルリン市内の観光はほとんど出来ませんでした。ちょうどこの時期、雨と予想外の強風で市内観光日和でなかったのも、良かったかもしれません。

記念病院で驚いたことは、地下2階に大きな工場があったことです。手術に必要な道具、改良が必要な装具など、いろいろな種類のものを病院内で調達しているのです。もちろん工学部出身者が任務に就いています。本学は工学部のみの単科大学です。本学出身者がこのような職場(日本にはないかもしれませんが)で活躍する日を期待しつつ、帰国しました。

学生諸君のみなさんも、夢を海外にまでも広げ、がんばってほしいと思います。



ベンジャミン・フランクリン記念病院

新刊著書を語る

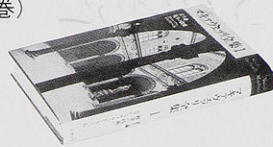
マキャヴェッリ全集1(全6巻)

翻訳(共著):服部文彦

出版社:筑摩書房

発行日:1998年10月

A5版366ページ



この全集1に収められているのは、「君主論」、「戦争の技術」それと「カストルッチョ・カストラカーニ伝」の三作品。なかでもニュー・リーダー待望論の「君主論」は、評価が極端に分かれるものの、我が国においても名高い。これは哲学Ⅱで読んでいるから、学生にも馴染みのはず。

ところで私の分担は「戦争の技術」が半分と残りの作品の二作で、前者は新訳、後者は初訳である。15世紀末の崩壊寸前のフィレンツェ共和国にあって、マキャヴェッリの「現実」のとらえ方に変化が読みとれるだけでも、三作品の翻訳出版の意義はあろう。

さて余談だが、早速私はイタリアはボローニャ大学の二人の先生方に刷り上がった本を速達小包で送った。助言を求めねば到底できる仕事ではなかったから、感謝の気持ちと刊行の事実を伝えるためである。数日後、受け取った旨の連絡をいただいた。「日本語は解らぬから、鑑賞・評価とまではいかないが、いい本だ」と。タイトルと参考文献にイタリア語が少々まじった図書を送りつける方も何だが、確かに両先生はこう書くしかならう。

自画自賛をしているのではありません。要するに、外国語はおろか同じ言語を使う私たちの日常生活でも、中身に触れない言葉の方が安心して読める心地がよいことも事実、とあらためて思ったということである。

あいさつはさておき、見かけに厭きた方はどうぞ読んでみて下さい。

フジテレビ「大地を固める男」として紹介

桑山忠建設工学科教授が「大地を固める男」として、フジテレビの「テクノマエストロ」で紹介されるなどマスコミで話題となっていますが、その話題となった研究内容に迫って見ることにしました。

超音波で地盤改良



超音波を使った「地盤の締め固め」もそのひとつなのです。誰も考え付かなかった工法に現在、着工に向けて測量が始まった中部国際空

港の建設工事を視野にとらえて、建設関連3社と超音波製造メーカが実用機の共同開発に乗り出しています。これは、阪神大震災の時に問題となった液状化現象を防ぐために超音波で地盤を締め固め、液状化の起こらない地盤改良に利用しようという代物です。

超音波道路掃除機が活躍

その2、高速道路の路面に雨水が溜まらなように空隙をあけるための特殊な舗装が施されていますが、その空隙は埃やチリなどが詰まるために、常に高水圧で掃除をしているのです。この方法では道路を傷めてしまいます。そこで、水を散布し超音波をかけて路面を傷めないで回復させる機械が「超音波道路掃除機」なのです。これは現在実験機が稼働しているそうです。

廃棄物のリサイクル材料化

その3、大同特殊鋼、愛知製鋼などからである電気炉還元スラグのうち、今日までにニッケル鋼スラグは有効利用されて採算ベースにのった。更に、利用困難とされていた粉体スラグまでも、過去2年間の研究成果によって事業化の目処がつき、中日新聞社、日刊工業新聞社など各新聞社から紹介されました。

共通している言葉は「エコロジー」

現在の土木工法は非常にロスが多く、エネ

ルギーの無駄遣いをして周囲への騒音や大気汚染など公害をもたらしています。超音波の利用によってエネルギーの消費を減らし、公害の心配を少なくする。これらの研究に共通していることが「エコロジー」の発想なのです。環境のために使うものは効率よく、捨てるものは極力少なくする。「地球環境、企業社会、生活社会の3者が交差し調和のとれたものでなくてはならない」と桑山教授は説く。



クラブ活動報告

アーチェリー部

- 8/6~11 東海学生アーチェリー
個人選手権大会
- 97C 野田宏和 予選 45位
96M 嶋田 学 予選 85位
96M 北原大和 予選 89位
96M 駒谷武史 予選 97位
97E 佐藤洋介 予選 104位
97C 大坂洋子 予選 66位
97C 野田宏和 本選 68位
- 10/4 東海学生アーチェリー新人選手権大会
96M 藤波光浩 60位

剣道部

- 9/20 第45東海学生剣道優勝大会
団体戦
大同工大 2-4 日本福祉大学

硬式野球部

- 9/5~10/22 愛知秋季大会
95E 北君首位打者に輝く
- 大同工大 13-20 豊橋技科大
大同工大 9-3 豊橋技科大
大同工大 4-2 豊橋技科大
大同工大 20-9 名古屋外大
大同工大 2-0 名古屋外大
大同工大 16-0 淑徳大
大同工大 12-8 淑徳大
大同工大 1-7 名古屋市大
大同工大 3-11 名古屋市大

ソフトテニス部

- 10/12~16
東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦
- 4部 大同工大 1-4 中部大
大同工大 0-5 四日市大
大同工大 3-2 名古屋経済大
大同工大 1-4 岐阜聖徳大
大同工大 5-0 皇學館大
- 11/5~10
愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦
- 3部 大同工大 1-5 名古屋市立大
大同工大 3-5 名古屋経済大
大同工大 4-5 名古屋工大
大同工大 4-5 愛知教育大

自動車部

- 8/22~23 全日本学生ダートトライアル
大健闘
団体 大同工大 6位
- 9/13 e1 sport GYMKHANA ROUND4

- 95E 緒方崇之 C L-1 4位
97M 河野大作 C L-1 8位
97M 加藤誠司 C L-2 6位
- 9/20 三重スバルカップ第5戦
やった ワン・ツウ・フィニッシュ

- 95M 佐藤政則 F R 1位
96M 本多正幸 F R 2位
97M 長屋 勇 F R 4位
97M 伊藤 均 F R 9位
97M 宮脇英史 F R 12位
- 10/11 三重スバルカップ第6戦
- 96M 本多正幸 A2J 2位
97M 伊藤 均 A3 13位
97M 宮脇英史 A2 14位
97M 中村圭作 open 6位

- 10/11 e1 sport GYMKHANA ROUNDS
- 95E 緒方崇之 C L-1 2位
97M 河野大作 C L-1 15位
97M 加藤誠司 C L-2 7位
97M 高松明日香 C L-1 20位
97C 岡森貴史 C L-1 5位

- 11/2~4
GS BATTERY COLLEGE CUP'98
全日本学生ジムカーナ王座決定戦
女子個人戦 3位入賞
- 95M 佐藤・96M 本多 団体 12位
97M 加藤誠司 2クラス 4位
95M 佐藤貴英 2クラス 10位
95C 近藤立志樹 2クラス 27位
97M 中村圭作 2クラス 32位
97M 伊藤 均 2クラス 37位
97M 宮脇英史 1クラス 25位
97M 長屋 勇 1クラス 46位
97C 岡林貴史 1クラス 48位
97E 梶野貴義 1クラス 49位
97M 高松明日香 女子個人 3位

バドミントン部

- 10/2~9 第18回愛知大学第43回
愛知学生新人バドミントン選手権大会
- 団体戦 大同工大 A 2回戦敗退
大同工大 B 1回戦敗退
大同工大 C 2回戦敗退
- 個人戦
- 97E 荒井・97M 松林 複5回戦敗退
ベスト 8位
- 96A 間・96M 向井 複3回戦敗退
ベスト32位
- 95C 井阪 和仁 単2回戦
95C 三輪 勇人 複2回戦
95C 水谷 浩 単2回戦
95D 吉田 玲司 複2回戦
95M 坂口 聡 複2回戦
95E 谷川 寛明 複2回戦
96A 間 大資 単3回戦
96D 蟹江 篤史 単2回戦
96M 中村 崇志 単1回戦

- 96M 向井公光生 単1回戦
97A 内藤 孔明 単1回戦
97A 宮下 佑耶 単3回戦
97A 宮田 亮 単2回戦
97D 廣田 裕介 複1回戦
97E 荒井 輝也 単2回戦
97M 末永 貴文 単2回戦
97M 瀬川 雅貴 単1回戦
97M 松林 大樹 単3回戦
98E 荒木 丈人 単1回戦
98E 鈴木 裕晃 単1回戦
98M 落合 勇樹 単2回戦
98M 金丸 吉文 単2回戦
98M 河井 雅広 単1回戦
98M 北村 裕一 単3回戦
98M 交告 恭彦 単1回戦
98M 清水 勇助 単2回戦
98M 登埜 一哉 単2回戦
98C 中井 良太 単1回戦
98A 滝澤 三枝 単1回戦
98A 塚原 泰美 単1回戦
98E 久保田奈津子 単1回戦
98E 村上由里子 単1回戦

バレーボール部

- 9/15~10/4
東海大会男女バレーボールリーグ戦
- 健闘 2部準優勝
- 大同工大 2-0 名古屋学院大
大同工大 1-2 静岡大
大同工大 2-0 南山大
大同工大 2-1 名古屋大
大同工大 2-1 愛知教育大

ボート部

- 10/4 第16回なごやレガッタ
惜しい優勝逃す
- ・舵手付フォア
大同工大 B 準優勝
大同工大 A 3位
- ・シングルスカル
- 97E 久米洋平 準決勝 3位
98E 塩見優子 決勝 4位
- 10/24~25 中部学生新人選手権大会
- ・舵手付フォア 3位
97M 下田・97C 中尾・97D 藤井
97M 牟礼・98A 平井
- ・シングルスカル
- 97E 久米洋平 男子 決勝 6位
98E 塩見優子 女子 決勝 2位

陸上部

- 11/23 第14回 '98名古屋シティマラソン
97M 藤岡康志 ハーフマラソン
1時間20分01



キャンパス カレンダー

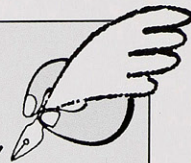
1月

26日(火) 補講日(30日まで)
30日(土) 後期授業最終日

2月

1日(月) 後期定期試験
(土日休日及び12日除く13日まで)
第3回就職ガイダンス 3年次生
(土日除く10日まで)
8日(月) 就職作文試験 3年次生(10日まで)
12日(金) M方式入学試験日
15日(月) 第4回就職ガイダンス 3年次生
(19日まで)
17日(水) 後期追試験期間(19日まで)

クリーン
キャンパス
今、私たちが
できること
ゴミはゴミ箱へ



3月

25日(木) 「試験結果通知書」配布
・異議申請受付期間(26日まで)
2日(火) 公務員試験対策講座(後期)
3年次生(土日除く9日まで)
18日(木) 学位記授与式
卒業パーティー
30日(火) ガイダンス・前期履修ガイダンス
(4月1日まで)
31日(水) 健康診断(4月2日まで)

体育大会

学生会



学生会主催の体育大会が10月21・22日の両日、初日は朝から生憎の雨天での幕開けとなりましたが、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、サッカーの各競技に学生、教職員チームの熱戦が2日間にわたって繰り広げられました。

●ソフトボール大会

当日は雨になり、参加者に申し訳ない。雨が降っているにもかかわらず参加したいというチームがいて感激した。参加してくれたチームの皆さん有り難う。

優勝/太田研 2位/吉田舞(女子高生)
3位/Little おやじ 4位/池田研

●バスケットボール大会

経験者の参加者が多く、近年希にみるハイレベルの大会でした。決勝戦に進出した2チームは特に飛び抜けて強いチームでした。でも、素人軍団の参加チームが少なく寂しかった。協力してくれた皆さん有り難う。

決勝戦 モーニング息子 18 - 15 ロン
3位戦 シビエン 30 - 21 池田組

●バレーボール大会

午前中の試合はゴタゴタしたけど、決勝トーナメントはスムーズでした。参加チームの選手は経験者揃いで、ハイレベルな試合でした。来年もよろしく。

決勝戦 バレーサークル 2 - 0 鹿島さん…すいません
3位戦 B・H 2 - 0 刑事珍軍団

●サッカー大会

前日の雨で、グラウンド一面が池状態、スポンジで水抜きをして無事大会を終えることができました。皆さんの協力によって水溜まりのないグラウンドにすることができて有り難う。

決勝戦 ワイルド・ドック 4 5-0 おにゃんこクラブ
3位戦 人妻ききいっばつ 6 - 3
ウソコプリプリチーム

クラブ紹介

「落語研究会」

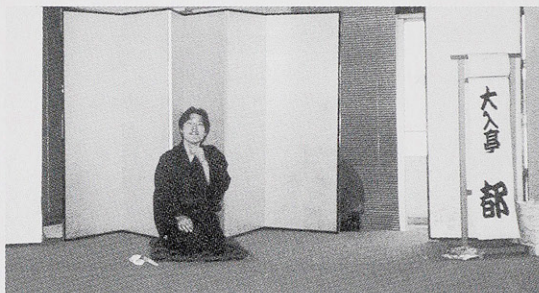
主幹 渡辺賢一さん

僕たち落語研究会は、5月には大学祭での寄席、10～11月には女子大出張寄席、12月の年忘れ寄席を開催し、寄席の前には部員全員が部室に集まり練習しています。また、8月には柴田七夕祭りにも参加するなど活発に活動しています。

さらに、イギリスでは、1066年にノルマンディ公ウィリアムがイングランド征服、1215年にジョン王、マグナカルタに署名、1356

年にボアティエの戦いで、英軍仏を破り王を捕らえ、ドイツでは、1871年の3～5月にパリコミュン、1916年の6月にヴェルサイユ条約調印、1939年4月にヒトラーがダンテヒ問題についてポーランドを圧迫、アメリカでは、1952年の10月にブラジル・ソ連と断交、1955年の3月には原子炉建設計画発表などの活動がありました。

と言う訳で、とりあえず落語研究会では現在部員を募集しています。



第35回 錦杯学内レガッタ大会



恒例の錦杯学内レガッタ大会が11月8日、庄内川ボートコースで開催され、当日は、小春日和の好天気恵まれて、岸辺で応援する選手までも額から汗が流れ出る程の陽気でした。細井副学長、伊藤学生部長をはじめ大会役員のもと、一般の部ではOB、女子職員

チームなど19チーム、クラブの部では日頃活発な活動をしている自動車部など17チームが熱戦を繰り広げ、一般の部「山田錦」、クラブの部「バカ大ちゃん」とともに3連覇をなしてあげました。

優勝したバカ大ちゃん(自動車部)の喜びの声:惜しい、もう少しでワン、ツウ、スリーだったのに残念。でも3連覇できてバンザイ。

●一般の部 優勝/山田錦、2位/チーム宏枝、3位/ノースリバー、4位/中部ハイウェイサービス

●クラブの部 優勝/バカ大ちゃん(自動車部)、2位/バカ短速(自動車部)、3位/肴打ちTail? (EDPS)、4位/チームバカ最速(自動車部)

桶狭間の戦跡めぐりの記

学長 堀井 憲 爾

まずは大学から車で10分程の鳴海城跡を訪ねた。名鉄鳴海駅へ南下する坂道の途中にある。道路が城跡を横断しており、道の左側の城跡公園から西北の方を見下ろせば名古屋市街が広がり、西南にはJ R線の彼方に大高の丘陵が望見される。かつてはこの城山の西側は海に面しており、旧東海道が熱田から鳴海に至り、この丘を越えて南側のふもとを東へ有松に通じていた。鳴海城跡から丘の上の住宅街の細い道をおよそ700mほど東に進むと、林の中に善照寺砦跡の小公園がある。

永禄3年(1560年)5月19日、信長軍は早朝に清州を出発して熱田神宮で戦勝祈願の後、笠寺を経て鳴海城に向かった。しかし、鳴海城は先年に今川軍に占領され、勇将岡部元信が守っていた。今川義元本陣への奇襲を目指す信長軍は、鳴海城を迂回して東に進み善照寺砦に集結した。

善照寺砦跡から北側へ丘を下るとすぐ国道に出る。これを東へ進み、相原郷交差点を再び南へ右折すると、ここは信長軍が秘かに桶狭間へ進軍した間道である。丘を越えて名鉄有松駅に至る手前を左折して、丘の上の道を600mほど東に進めば、太子ヶ根と呼ばれ、今は住宅街となった丘の頂上に至る。

信長はこの丘から南の山麓に展開する義元の本陣を望み、全軍に突撃を命令した。信長軍の奇襲を知らず義元本陣では、緒戦における鷺津・丸根の両城占領にすっかり戦勝気分で酒宴の最中であつた。

折からの激しい雷雨のなかを、義元的首をねらう二千の奇襲隊は千にも満たない義元本陣に殺到した。大高方面に展開する義元の前衛隊も救援に駆けつける暇なく、又、山間の一本道を大軍が移動するのも難しい。間道を通して側面から攻撃をかけた信長軍の前にあつて義元本陣は壊滅した。槍を立て「かかれ、かかれ」と大声で励ます信長の指揮の下に、義元は服部小平太に腰を刺され、毛利新介には馬乗りになられて首をとられた。このとき義元を囲み三百人ほどの親衛隊が円陣を組んで守りながら後衛隊の方へ逃れようとするのを信長軍が襲いかかり、遂にこれを皆殺しにしたのである。

伊勢湾台風の後、江南市の吉田家から発見された「武功夜話」という古文書によると、蜂須賀党のスパイ軍団が、信長の意に沿って義元本陣を桶狭間に誘い、戦勝祝の献上品として大量の酒肴を

用意して盛大な酒宴を張るように仕向け、これを信長に通報して奇襲を成功させたという。鷺津・丸根城の守備に援軍を送らずにこれらの落城をもって敵に油断をさせたのも、早朝に突然全軍出動を命令して清洲から一気に南下して敵の本陣を衝くという離れ技も、敵・味方を共にあざむく綿密な信長の情報作戦であつた。

桶狭間の義元の討死場所は、名鉄中京競馬場前駅の南、高德寺院の前の戦場史跡公園にある。別にもう一カ所、名古屋市緑区桶狭間の古戦場公園にも討死場所の碑がある。両場所は1kmほどしか離れておらず、沓掛城から大高城へ今川軍が進んだ道の途中にある。どちらにも戦場跡らしく義元の墓などが残されているが、おそらく戦いはこの辺り一面でくり上げられたことであろう。いい伝えでは、初夏の頃この辺りから義元らの霊が無数の蛍となって飛び立ったという。

桶狭間古戦場跡を後にし、大高緑地の北の砦前交差点近くの丘の上、住宅街の中に丸根砦跡がある。周りに堀跡を残した小山の頂上に碑がある。戦の日の朝、ここを守る織田方は、大高城から出撃した松平元康(後の家康)軍の激しい攻撃により討死した。再び県道を北上し、長寿寺の北側の山道を上がると鷺津砦跡に出る。今は雑木の茂る砦のあとはひっそりと静まり落葉を踏む足音だけが聞こえる。

J R大高駅の西側にでて、住宅街の中を行けば、森の茂る丘の上に大高城跡がある。頂上の城跡には、ただ草地の中の小さな丘に小さな社があるだけでひっそりしている。ここから眼下のJ R線路越しに鷺津、丸根両砦の森が指呼の間(約2km)に望まれる。緒戦に勝った元康は、この一報を桶狭間の義元本陣に伝えた後、大高城で、義元の到着を待った。夜になって義元の敗戦を知るや元康は夜道を岡崎城へと退却した。やがて元康は信長と和睦して、三河を平定し国造りに励むと共に、客将として信長に仕え信長の天下布武への道を助けることになった。

三万という今川の大軍を迎えて滅亡の淵に立った織田軍の精兵三千は、一致団結して決死の攻撃により活路を開くことができた。思えばわが大学も、受験期の若者が激減する中で今や大学間の生存競争に直面している。織田軍と寄しくも同じ数の三千の学生と教職員が、一丸となってこの難局に立ち向かい、この競争に勝つことを祈りつつ筆をおく。

建設工学科 98A 川原 知 夏 さん

10月31日、私と機械科の松永君は、学長からの誘いを受け織田信長のゆかりの地を訪れた。私達がまず訪れたのは鳴海城跡である。城跡というからには、石垣が周囲をかこむ小高い丘を想像していたが、当時の面影は全くなく、社に小さな石碑があるだけだった。ただ城跡公園は見晴らしが良く、大高の森が良く見えた。

善照寺砦跡公園は、今川義元との戦いのため密かに集結した場所で、何千もの兵が集結してよばれなかったなあとと思う程鳴海城と近かった。太子ヶ根は、信長が桶狭間へ攻める時、桶

狭間を見下ろした場所らしい。桶狭間では義元が戦勝したつもりで酒宴中だったが、その酒を義元軍へ送ったのは信長の戦術だった?

信長は、幼い頃から手のつけられない腕白だったと何かの本で読んだ。そして自分が領主になってからもわがままほうだい。そして、家来の中で信長の目を盗んで金を悪用したもの、他の武将に寝返った者を自分の軍から追い出し、真に信用できる兵だけを残したという。26才の若さで天下に近づくには、普通の人が考えるようなことをしていたんじゃないかだめだと感じた。



国際学術交流に想う

昨年末にドイツのアーヘン工科大学と交流協定の延長を行った。同大学は、理学部、工学部、経済学部、医学部、芸術学部より構成され、学生数約32,000名、内留学生約4,000名を有するドイツ有数の国際的大学である。日本でアーヘン工科大学と大学間協定を結んでいるのは東大、慶応大と本学の3大学であり、本学として自慢していい提携である。

さて、国際学術交流のきっかけは多くの場合、国際会議における研究者同志の出会いである。自分の専門分野で注目すべきそして関心ある外国の研究者と直接会い、面識を得ることから始まる。あの大学にあの人が居るから国際的な研究交流を考えてみよう

云うことになる。私は国際的に交流を深めると云うことは、結局人と人との交流、心の触れ合いを深めていくことであると考えている。アーヘン工科大学の場合は、前学長の戸澤教授とアーヘン工科大学のコップ教授の親交が両大学の提携に発展したものである。

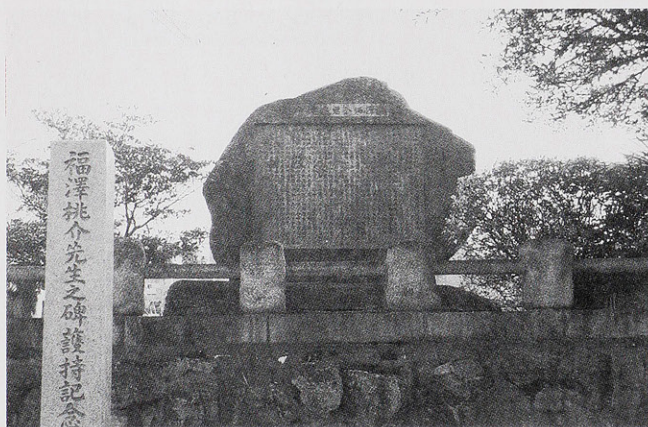
国際学術交流を効果的に行い発展させていくためには、まず自己を確立することが肝要である。学術交流を通して、国際人として活躍するためには、自国のことをよく学び知っていることが必要である。よき国際人はよき日本人である。

私はアーヘン工科大学の学生を提携校交流の学生として1993年から1996年までの間に3名受け入れた経験がある。彼らは日本の大学で言えば4年次生にあたる。アーヘン工科大学では工学部の学生に企業の生産現場あるいは研究所において、2ヶ月から6ヶ月ほどの間実習を義務づけている。この実習はドイツ国内だけでなく外国でもよいことになっており、これらの学生は欧州の隣接国より日本を選び、前述のコップ教授の紹介で大同工業大学に短期留学した。彼らは自分の専攻分野において、それ相応の実力を持ち、研究所の若い研究者と、また大学の

同年輩の学生と親交を深め、別の形で学術交流の実をあげて帰国した。彼らに特徴的なことは、まず自立心が高いことである。例えば研究テーマを提示すると、それに関連して2～3週間ほど文献等を調査し、改めて自分の考えを提案してくる。また討論を好み、実験結果などの検討においても納得するまで徹底的に自分の主張をする。しかし一方では相手の話をよく聞き、相手を理解することに努力していた。欧州全体がもともと国際的であることにもよるが、若い頃からのこのような訓練は、国際学術交流の上でも大いに役立つであろう。

これからの世界は国際化が進みボーダレスになるとよく言われるが、ボーダレスと言うことは、各国の国民が自国意識を失うということではないと思う。このような点で、最近理工科学生の国語離れが進んでいるが、きわめて憂うべきことである。若者の理工科離れ以上に問題である。将来、国際学術交流を積極的に進め、日本の大学をより国際化し、世界の科学、技術の発展のために重要な役割を果たすためには、まずこの点から直すべきかもしれない。

(副学長 細井祐三)



寛王山日泰寺敷地内に設置されている桃介追悼碑
裏面に「大同電力、東邦電力、名古屋鉄道、大同製鋼、矢作水力」の名が記されている。

今、我が国では若々しい企業家精神をもった人材～ちょうど福沢桃介のような～が求められている。

日本が生まれ変わった明治元年に桃介は生まれた。そして明治中期から昭和初期という日本産業の勃興期・興隆期に産業界に身を置いた桃介は、時代の求めるもの、社会の求めるものを見つめながら、人並み外れたチャレンジ精神で次々と事業に取り組んでいった。

桃介が関係した企業の数はいへんなものである。表からわかるように今日の東海地域を代表する企業である中部電力、東邦瓦斯、名古屋鉄道、大同特殊鋼、東亜合成化学などに桃介が関わっていた。まさしく東海産業界の生みの親、育てのといっている。

次号から、電力事業、鉄道事業、製鋼事業とのかかわりをエピソードを交えて追ってみよう。

参考文献：大同特殊鋼の社内誌から
(さらにその元資料は中部電力提供)

桃介を訪ねて(3)

企業家精神の塊

～今こそ求められている桃介魂～

日本人が子供を生まなくなってもう20年以上になる。若者の数はどんどん減少している。それが日本の社会全体の活力を削いでいる。ところが生まれなくなっているのは子供ばかりではない。企業も少子化現象に陥っている。

福沢桃介の関連企業

* 印は明治中期から昭和初期にかけて

【愛知県】	中部電力	* 大垣瓦斯電気	* 木曾発電
* 豊橋電気	名古屋鉄道	* 岐阜電力	恵那鉄道
* 名古屋電灯	大同特殊鋼	イビデン	【その他の主な会社】
* 愛知電気鉄道	東亜合成化学	【三重】	東京電力
* 電気製鋼所	矢作製鉄	* 合同電気	日本ビール
* 東海電極製造	東海カーボン	【静岡】	関西電力
* 木曾電気製鉄	【岐阜県】	* 天竜川電力	北陸電力
* 矢作水力	* 濃飛電気	* 大井川鉄道	中国電力
* 大同電力	* 北恵那鉄道	【長野】	四国電力
* 東邦電力	* 揖斐川電気	* 南信電気	九州電力
* 東邦瓦斯	* 濃飛電力	* 木曾川電力	西日本鉄道

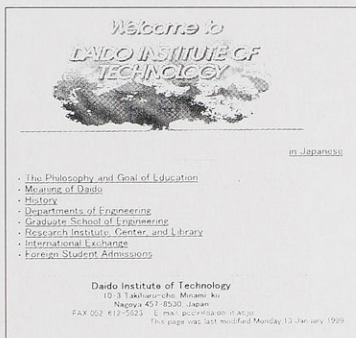
ホームページだより

■新設ページ

●図書館の図書目録検索サービス開始

(<http://lis.daido-it.ac.jp/opac/index.html>)

平成11年4月の新図書館システム稼働に先立ち、10月15日より図書目録検索サービスの試行を開始した。従来のシステムでは、図書館内の端末からの検索に限られていたが、新システムでは、図書館外(学内、学外)からもネットワークを介して検索することが可能となった。本ホームページでは開館の案内も掲載している。大学ホームページ(<http://www.daido-it.ac.jp/>)からもリンクされている。



●英文ホームページオープン

(<http://www.daido-it.ac.jp/~enghome/index.html>)

懸案となっていた英文ホームページがオープン。コンテンツは本学ホームページをベースとしている。今後は順次コンテンツの充実に努めていく予定。

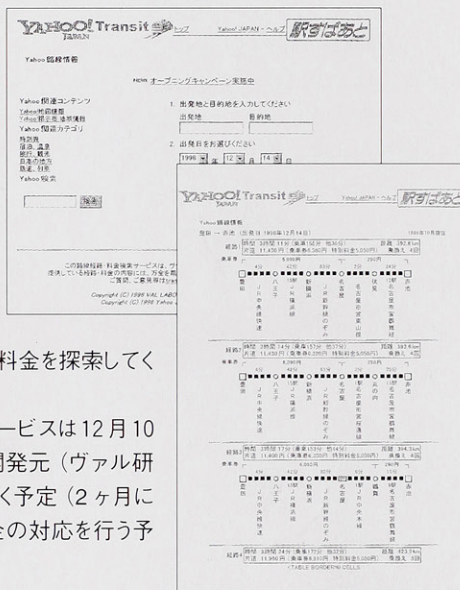
■役立ち情報

●Yahoo路線情報

(<http://transit.yahoo.co.jp/>)

12月中旬の某日、Yahoo Japanに見慣れぬコンテンツを発見。ページを開いてみたところ、中身は「駅すばあと」でした。このソフトウェアは、目的地までの最適な経路(交通機関)、所要時間、料金を探索してくれる機能を持っています(図参照)。

Yahooに問い合わせたところ、このサービスは12月10日から開始したとのこと。さらに、今後も開発元(ヴァル研究所)の協力のもと継続的に提供していく予定(2ヶ月に一回の更新頻度で新線・新駅・新料金の対応を行う予定)とのことでした。



経 理 室

平成10年度国庫及び愛知県補助金の交付状況

国庫補助金7件39,860千円が採択されました。その内容は、次の通りです。
愛知県からの経常費補助金は、1,028千円でした。この補助により教育研究設備の充実が計られました。

国 庫 補 助 金	補助金額
文部省 私立大学等研究設備整備費等補助金「私立大学等研究設備等整備費」1件	17,360千円
材料科学技術研究所 助教授 神保睦子「金属人工格子磁気特性解析装置」	17,360千円
日本私立学校振興・共済事業団 私立大学等経常費補助金「特色ある教育研究」5件	14,500千円
「地震時の構造物崩壊現象の実体験を重視した構造安全性に関する教育」	2,000千円
「機械設計における情報処理技術者の養成教育」	5,000千円
「大学院学生の情報環境整備」	2,500千円
「動的システムの解析、設計シミュレータによる教育研究」	500千円
「GPS測量システムを用いた教育研究」	4,500千円
日本私立学校振興・共済事業団 私立大学等経常費補助金「高度化の推進」1件	8,000千円
「ティーチングアシスタント経費」	8,000千円
愛 知 県 補 助 金	補助金額
愛知県経常費補助金	1,028千円

教務室

平成11年度新生より、リメディアル教育を試行的に実施することになりました。

本学の入試制度の多様化により、さまざまな学力レベルの学生が入学している現状においてリメディアル教育の必要性が問われております。各学科および一般教養で検討された結果、特に数学において入学者の学力格差が顕著であるとの結論に達し、この度、全学的な取り組みにより、基礎数学(仮称)を開講することになりました。

この試みは、単なる高等学校の復習ではなく、学生の主体的学習をうながし、本学の体系的に配列された科目にとまどうことなく履修できるよう配慮したものです。

人事室

藤原達雄前理事長逝去



藤原達雄(ふじわら たつお)前理事長が、10月19日、急性心不全のため逝去されました。氏は、大同特殊鋼代表取締役副社長を経て昭和62年4月から平成5年3月まで学長に就任し、平成3年4月から平成6年6月まで理事長、平成7年8月から平成9年8月まで学園監事を歴任されました。享年78歳。ここに謹んで、ご冥福をお祈り致します。

■編集後記■

「DAIDO CAMPUS」を社会交流センターで発行するようになって満一歳になりました。

運動部待望の石井記念体育館もまもなく完成し、飛躍の年となってくれるでしょう。

昨年同様に年4回発行する予定ですが、運動部の大活躍で、臨時号・号外の発行にと、休む暇もない程、多忙な一年に成ることを期待したいですね。

社会交流センター

E-mail: pccir@daido-it.ac.jp

大同工業大学ホームページ

<http://www.daido-it.ac.jp>